

岡崎嘉平太記念館



だより

Vol. 33

岡崎嘉平太遺墨紹介



「處世如賓客」

条幅 125.9×34.2

岡山県立岡山朝日高等学校所蔵

「處世如賓客」は創立90周年記念書道展（昭和39年）に際して揮毫されたものとみられ、以後の周年記念行事回顧展で毎回展示された。

創立140周年記念

『岡山朝日高等学校 所蔵作品集』より

先人の善言（『私の記録』より）

・・・世に処するに賓客の如くす、とでも読むべきか。私がかつて上杉鷹山の伝記を読んだとき、公の師細井平洲先生が公に贈った詩の中にあつた句である。公はたいへん感激して「客というものはわがままができない。飯がかたいの柔らかいの、汁が甘い辛いのと不平は言いにくい。主人の供応にまかせて我慢するものだが、自分の家では、少しく意のままにならぬと叱ったり怒ったりするものである。自分がかつては多少心掛けていたが、近ごろ隠居してから、賓客の心得を忘れてわがままになつていた。先生の一見を見て大いに心得になつた」とお礼を言つたということである。李白もうたつていられるように、天地は万物の逆旅である。人間はこの天地に宿をとるお客にすぎないと自覚すれば、おのずから覚悟もでき、処世も謙虚にできる。謙虚になれば不平不満も少なくなり、心身ともに安らぎを得る。安らぎこそわが人生を楽しくするものである。

伊達政宗の遺訓にも「気長く心穏やかにして万ずに儉約を用いて金を備うべし、儉約の仕方は不自由を忍ぶにあり。この世の客に來たと思えば何の苦もなし。朝夕の食事うまからずとも、ほめて食うべし。元來客の身になれば好き嫌いはもうされまじ」という一節がある。

出典 岡崎嘉平太著『私の記録』（一九七九（昭和五十四）年）発行

第14回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

岡崎嘉平太氏が愛した豊かな自然、心なごむ風景の写真を通じ、岡山の良さを再認識する機会にさせていただきたいとの願いを込めて始めた写真展も14回目を数え、今回も岡山県内外から177点ものご応募をいただきました。岡山県美術展覧会（県展）審査員の長瀬正己氏と日本画家の森山知己氏、岡崎嘉平太記念館館長による厳正な審査の結果、下記のとおり素晴らしい16点の入賞作品が決まりました。令和2年4月16日（木）から6月18日（木）まで同記念館企画展示室で、7月14日（火）から19日（日）まで岡山県天神山文化プラザ第一展示室大室にて、ご応募いただいた全作品を展示いたしました。

入賞作品



【最優秀賞】 北川 隆司
「ほのぼのした季節」



【優秀賞】 神崎 由子
「うわ～！秋」



【優秀賞】 中浦 和弘
「小春日」

【審査員特別賞】 木浦 正夫・芝 次昇・福島 一郎

【入賞】 小倉 護・最相 政実・坪井 稔・中山 勝雄・野口 繁男・野津 裕一・橋本 滝江・虫明 郁代
吉田 洋子・渡辺 稔

(敬称略)



審査風景

令和2年3月29日（日）

長瀬正己先生・森山知己先生
岡崎嘉平太記念館館長

令和2年5月16日（土）に予定しておりました表彰式につきまして、新型コロナウイルス感染症が全国に拡大している状況を踏まえ、受賞者の皆様ならびにご列席者の皆様の安全確保を最優先に考慮し、開催を中止いたしました。

177点の応募作品から、最優秀賞、優秀賞、入選に選出された作品について審査員の先生方から講評をいただきました。

- 全体** 写真展の意図を理解して出品している人が多い気がした。写真展の認知に繋がっていると思われる。オーソドックスにきちんと撮られた写真が、この写真展の特徴となってきた気がする。
- 最優秀賞** 写真の上手な人が上手にまとめた出来すぎくらいうまい写真である。上手く配色も散っていて、黄色と紫の補色のバランスも素晴らしい。時間をかけて光や人の配置を狙ったのだろう。全てのバランスが素晴らしい。絵画的なセンスも窺える。花の中にありながらも人が主役である。
- 優秀賞（神崎）** 秋の一日を楽しむスナップショットであるが、見る側が楽しくなる作品である。さりげなく上手い写真である。
- 優秀賞（中浦）** 写真らしい写真。技術的に素晴らしい。羽根の捉え方とか、ぶらせて撮る技術も素晴らしい。力のある作品である。
- 審査員特別賞（福島）** 技術的な巧みさに裏打ちされて、渋さ、大人しさを感じる、とてもテクニク的に成功している。
- 審査員特別賞（芝）** 写真らしい写真である。黄昏か日の出前なのか、日中出ない時間を選んでいるところも良かった。良い意味で“昔の写真”という印象である。
- 審査員特別賞（木浦）** 心なごむ作品である。メジャーではない村祭りの風景から、地域の絆とつながりも感じられ、子どもの楽しそうな表情も良い。
- 入選作品** 上位入賞の力はある作品ばかりだ。プッポウソウは吉備中央町ならではの、写実的にも上手い。猫作品はインパクト大である。石の風車は空気感がよく出ている。

岡崎嘉平太記念館会場風景



岡山県天神山文化プラザ会場風景



嘉平太氏のゆかりの地を示したパネルも展示しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めて大室での開催となりました。

第12回

嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和2年2月22日(土)から3月2日(月)まで開催。吉備中央町内全小学校の主に6年生の作品を一堂に展示しました。町内10校から、94点の作品が寄せられ、小学校最後の思い出に制作した備前焼や木彫りのアルバム、色紙や習字など力作の数々を展示しました。



吉備高原学園高等学校 生徒作品展

令和2年3月12日(木)から4月6日(月)まで開催。クラフトデザイン、陶芸デザイン、緑化システムの3コースの授業(同窓生は在学時)で制作した工芸、陶芸品等計43点を展示しました。会場には、制作工程を記録した写真パネルも掲示しました。



「嘉あちゃんの部屋」にて 吉備高原の日々を楽しむ 四季の絵画とうつつわ 浅野真・威子展 開催

令和2年4月24日(金)から6月18日(水)まで開催。吉備中央町上野にお住まいの浅野真・威子さんご夫妻。吉備中央町の風景や草花を描いた真さんの水彩画や版画など約90点、威子さんの普段使いの小皿など陶芸作品約65点が、所狭しと並びました。



記念館が臨時休館へ

記念館では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「緊急事態宣言」による国及び県の基本方針を踏まえ、4月25日(土)から5月7日(木)まで臨時休館しました。

※「嘉あちゃんの部屋」はコミュニティづくりや地域振興などを目的として、主に町内の団体及び住民の方々に、学習の場、憩いの場、ふれあいの場、作品発表の場を提供するための施設で、どなたでもお気軽に利用できます。

夏休みミニ企画展「旭川荘アートギャラリー作品展」開催

令和2年7月23日(木)から8月31日(月)まで開催。旭川荘アートギャラリーは、社会福祉法人旭川荘関連施設の利用者が制作された絵画や立体作品を常時展示替えを行いながら開館されている施設です。2019年末には旭川荘と親交の深い中国・上海でも初の作品展が開催されました。日中友好に尽力し、生前は吉備高原都市内の福祉事業にも関係していた岡崎嘉平太氏。この度は「日中友好」と「福祉」をキーワードに、同ギャラリーの素晴らしい作品61点を展示紹介しました。



来館くださいました

吉備高原小学校4年生の児童や先生方が総合学習で岡崎嘉平太記念館に来館しました。学芸員による紙芝居や館内説明、クイズなどで学習した後、嘉平太氏が第2代社長を務めたANA（全日本空輸）オリジナルの紙飛行機を作り、きびプラザ内にあるにじいろ広場で飛ばしました。当館では郷土の誇りである嘉平太氏について子供達にしっかり伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。



常設展示室 展示照明の全面LED化終了

令和2年3月初旬、常設展示室の照明設備をLEDに交換する工事をしました。LEDは従来の蛍光灯に比べて、半分以下の消費電力を削減することが可能です。資料への影響も少ないのが特徴とされています。しかも明るさは従来のものとほぼ同じです。

「岡崎嘉平太さんとの思い出」を募集しています

郷土愛の人一倍強かった岡崎嘉平太氏はふるさとを離れてからも度々帰郷し友人達との交流を何よりの楽しみとしていました。来館された方々からも「小さい頃会ったことがある」とか「実家によく来られていた」等々お話を聞かせていただけることもあります。そこで皆様からの嘉平太氏との思い出を募集しています。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。メールの方は記念館ホームページのフ送信フォームから、またFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力ください。

これからの企画展

第18回 おかざき市民文化祭協賛事業
令和2年
9月19日(土) - 12月27日(日)

岡崎嘉平太記念館
寄贈品にみる
岡崎嘉平太の生涯を
織り成した人々

入館料 無料

岡崎嘉平太記念館 企画展示室
開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週火曜日（毎月22日は月曜日の振替）
主 催：岡崎嘉平太記念館

岡崎嘉平太記念館 〒716-1241 加賀郡吉備中央町吉川4860-6 TEL 0866-56-9033
https://www.okazaki-kaheita.jp

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第19回講演会

今年10月19日(月)に、吉備高原リゾートホテル3階大ホールで開催を予定しておりました上記講演会は、中止することにいたしました。

春から開催に向け準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束の兆しが未だ見えないことから、ご参加くださる皆様、講師の先生方、および開催に携わるスタッフの安全を最優先するため、やむなく中止を決定いたしました。

急なご案内でご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

第19回 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 講演会

講師 小長 啓一氏
【リーダーの資格と生き様】

出口 隆一氏
【旭川荘における日中友好と芸術支援活動】

入場無料

10/19 中止

岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6
岡崎嘉平太記念館
岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第19回講演会 参加申し込み強盗 宛



編集・発行：岡崎嘉平太記念館
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内
TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066
HP <https://www.okazaki-kaheita.jp>
Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp